

事業の基礎情報

実施主体	石川県タクシー協会能登町支部
事業実施地域	石川県能登町
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ まちづくり
共創パートナー	能登町、石川県タクシー協会、石川トヨペットカローラ輪島店、石川TOYOTA穴水店、公立宇出津総合病院、石川県薬剤師会能登北部支部、ショッピングタウンアルプ、能登町公民館連合会
運行形態	乗合タクシー
運行主体	石川県タクシー協会能登町支部

取組の概要

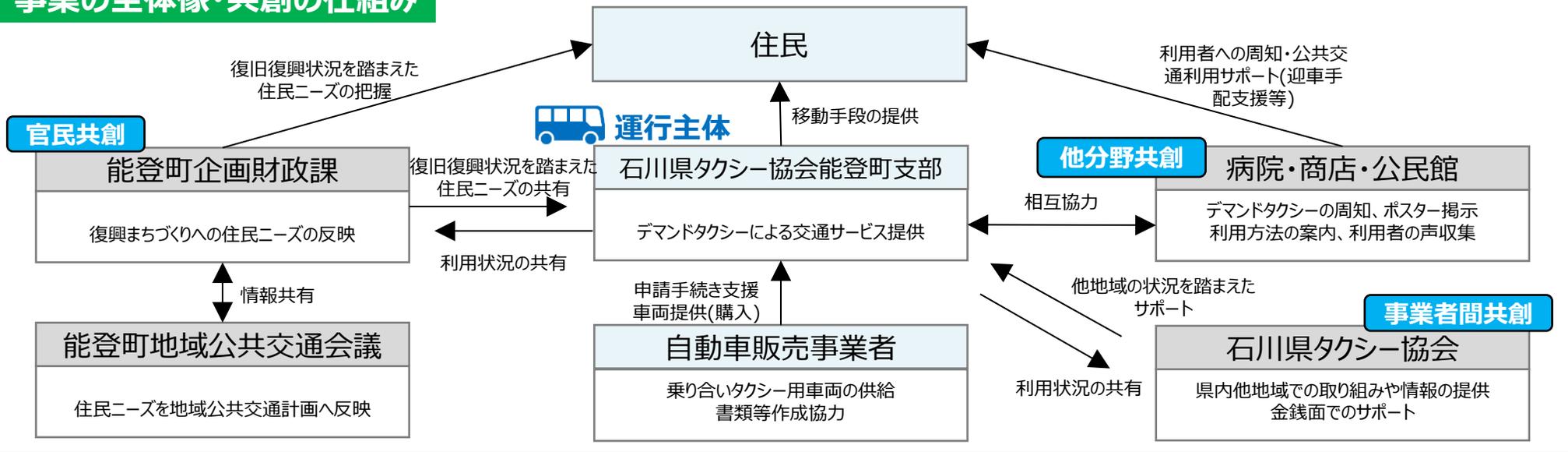
(現状の地域課題と事業目的)

能登町では令和6年能登半島地震により、基幹インフラに甚大な被害を受け、復旧には時間を要すると予想されている。二次避難は進められているものの、地域に愛着を持つ高齢者が多く、被災地での生活を継続する住民が多い。商店や病院、学校などの施設は再開され始めており、仮設住宅も入居が始まっていることから、被災地域における移動手段の確保が重要となる。しかし、タクシー事業者も被災し、運行が困難となっている地区も出ている。このため、被災後の需要動向を見極めながら関係者と横の連携を図り、運行困難地域に交通サービスを提供していく仕組みを構築するため、実証運行に取り組むこととする。

(事業の概要)

行政（官民共創）、タクシー協会、自動車販売会社（事業者間共創）、商店、病院といった目的地となる施設（他分野共創）との連携・役割分担を行う体制を新たに構築した上で、乗合タクシーを実証的に運行する。これにより、被災後の需要動向や今後のまちづくりの方針を踏まえた地域の交通サービスが持続的に提供されるような仕組みづくりを試行する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

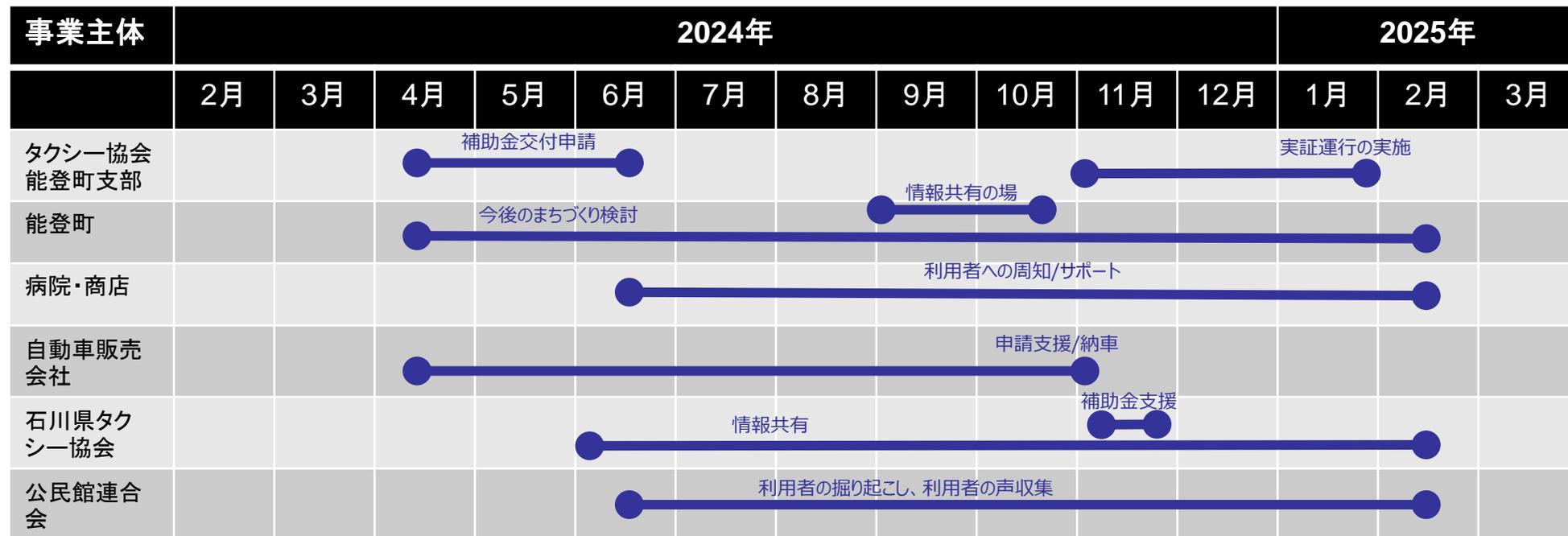
- 【行政】・復旧・復興状況に応じた住民ニーズの把握・今後のまちづくりの方針の検討
- 【商店、病院、公民館等】・利用者への乗合タクシーの利用周知・公共交通利用にあたってのサポート、利用者の声収集
- 【自動車販売会社】・必要となる車両の手配・各種申請手続きのサポート
- 【県タクシー協会】他地域での取り組みなどの情報提供、金銭的サポート

(実証事業により見込まれる効果)

被災地域では地域の交通サービスの確保状況によって、復興まちづくりの進捗への影響が想定される。今回の実証運行事業を通じて、関係者によって効果的に交通サービスが提供できるかを検証することにより、今後の地域全体のまちづくりに生かすことが出来る。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

実証運行では被災地域での交通ニーズの動向を見極め、今後の公共交通計画・復興計画・防災計画等において、必要な地域交通の確保施策として反映させる。

実証運行終了後も、能登町デマンドタクシーとして運行することで、利用料金片道700円の収入と、不足分は能登町からの補助金を充当する。これにより本格運行に繋げる予定。(能登町予約制乗合タクシー事業費補助金を活用)